

市民アンケート（まとめ）

1. 意見交換会そのものへの評価・改善点

多くの参加者が会自体を有意義だと感じているものの、運営や集客に関して具体的な改善案がある。

- **開催の意義:**
 - 議員の顔が見えるコミュニケーションとして非常に良い、今後も続けてほしいとの声が多数。
 - 予想以上に活発な意見が出て充実していた。
- **集客・広報の課題:**
 - **参加者の少なさ:** 特に 20 代～40 代の若い世代、現役世代の参加が少ないことへの懸念が非常に多い。
 - **周知方法:** 回覧板だけでなく、各戸配布にするべきだという意見や、もっと参加したくなるような工夫が必要との指摘があった。
- **運営への提案:**
 - **開催形式:** ミニ集会形式、出前市議会（高校生・大学生対象）、テーマを絞った開催などの提案があった。
 - **デジタル活用:** Zoom 配信、アーカイブ配信、ネット上での意見交換の場を求める声があった。
 - **進行:** 議論の時間が短かった、進行を明確にしてほしいという意見があった。

2. 関心を持たれた話題・議論の内容

アンケート回答者が特に関心を持ったトピック。

- **投票率・政治関心:**
 - 投票率の低下、どうすれば向上するかという議論。
 - 「平和だから政治に関心がない」という意見への納得。
- **地域コミュニティ・教育:**
 - 地域コミュニティづくり、子供への教育の重要性。
 - 部活動の地域移行について。
- **具体的な市政課題:**
 - 演習場（多連装ロケット/ハイマースの影響）、御宿公園の予算。
 - インボイス制度や消費税廃止（国政レベルの話題含む）。

3. 議会活動・広報についての要望

議会がどのように情報を発信すべきかについての意見。

- **情報発信の強化:**
 - **SNS の活用:** Facebook だけでなく、Instagram や YouTube での発信を求める声がある。
 - **見える化:** 議員個人の活動状況や、賛否の状況をもっと見える化してほしい。
 - **フィードバック:** 地元要望に対する回答（キャッチボール）を確実に行ってほしい。
- **知りたい情報:**
 - 行政に対する苦情や問題点（感情的なものを除く）、市が直面している具体的な問題。

4. 市民とのコミュニケーションについて

今後どのようなコミュニケーションが望ましいかについての自由記述。

- **双方向性の重視:**
 - 一方的な報告ではなく、今回のような「対話の場」「話し合いの場」を定期的に、数多く設けてほしい。
 - 地区や公民館単位での報告会開催要望。
- **ターゲットの拡大:**
 - 各種団体（区長会など）だけでなく、一般市民や無関心層、若者にどうアプローチするかが課題。
 - ネット投票（投票率向上の手段として）の提案。